

(様式3)

事業所名 認知症グループホーム てととと和合

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 12 月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	最近施設内で事故や急変等が続いており、初期対応及びその後の家族連絡に関しても連携が取れておらず問題になる事態が発生している。	事故・急変時の初期対応及びその後の家族連絡の一連の流れを全職員が理解して、滞りなく業務が進められるようになる。	いくつかの状況の例を挙げ、対応の流れをまとめてマニュアル化し、いつでも参考に出るようホーム内にて保管する。 ミーティングや防災訓練時等定期的に職員間で確認し、見直しを行う。	6ヶ月
2	10・19	感染症流行の為に入居者家族と直接顔を合わせる機会が減ったことでコミュニケーションが取れず、ホームでのケアに関して整合性が取れないことが増えた。	運営推進会議や家族会等を再開して入居者家族と直接顔を合わせてコミュニケーションを取る機会を作り、ホーム・家族とでケアの目標を共有する。	ホームへ来ていただく他、リモート等の方法も使いながら運営推進会議や家族会を開催し、コミュニケーションを取れるようにする。 電話や職員からの手紙等も継続して実施しながら、入居者の最近の様子について情報を共有する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。